

# 早期発見と早期支援のための生徒理解

中学1年生は思春期の揺れと新しい環境の中で、心は不安や悩みストレスでいっぱいです。そこで、中学校ではいち早くその兆候をとらえ、支えていくことが大切です。

## 思春期とは・・・

- ・小学校から中学校への移行の時期
- ・心身の変化が最も激しく現れる時期
- ・自我の目覚めの時期

## 生徒

### 葛藤の時期

- ・自我が芽生えてくる
- ・自己理解ができにくい
- ・自己を肯定しにくい

## 教師

生徒の心をとらえにくい時期  
・反抗されることが多く生徒のよさに目を向けにくい

だからこそ、一人ひとりの心の内面に目を向けた、ていねいな対応が必要

## 生徒のちょっとした変化に気づきたい！！

- ・元気がなくなった
- ・ぼんやりすることが多くなった
- ・悲しげな表情を見せるようになった
- ・一人であることが多くなった
- ・提出物を出さなくなった
- ・ため息をつくことが多くなった
- ・笑顔がなくなった
- ・部活に行かなくなった
- ・生活ノートを出さなくなった
- ・なんとなく欠席することが多くなった

いつもと違う生徒の姿に敏感に

## 生徒と話すときのポイント

- 1) とことん話を聴き、しっかり受けとめる
- 2) 生徒が安心できる態度で接する
- 3) 気持ちをとらえて、時期を逃さない
- 4) 生徒の気持ちに寄り添って聴く

## 早期発見 → 早期支援

### <相談の整理>

- ・悩みの内容は？
- ・本人の状況は？
- ・学校の状況は？
- ・家庭の状況は？
- ・何が必要か？

### <支援>

生徒の気持ちに寄り添いながら  
・だれが  
・どんなふうに関わるか検討

### <校内連携>

- ・担任
- ・コーディネーター
- ・校長、教頭等へ連絡、相談